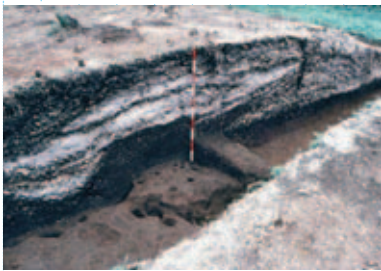


～生活と生業^{せいぎょう}* (なりわい) の技術・文化と景観～

里山・里海の環境の中で受け継がれてきた生活や産業の中には、伝統的な産業の道具や特色ある景観が多く残され、そこからは、県内各地の自然と人間とのかかわりが生んだ多様な歴史と文化を読み取ることができます。



豊かな海の資源と縄文文化を象徴する
かきりかひづか 加曾利貝塚 (千葉市)
〔写真提供：千葉市教育委員会〕



豊かな海の資源を象徴する三番瀬^{さんばんぜ}
(船橋市)
〔写真提供：船橋市教育委員会〕



古代から続く農耕の風景
しもろさやうた 下総の谷津田 (千葉市)



きよてん 江戸前漁業の拠点として
にぎわう船橋漁港 (船橋市)
〔写真提供：船橋市教育委員会〕



ちよつかつまき こがねなかのまき かまがや
平坦な下総台地を利用した江戸幕府の直轄牧*小金中野牧 (鎌ヶ谷市)
〔写真提供：鎌ヶ谷市教育委員会〕



海からの強い風から屋敷を防ぐ
まき いの 模の生け垣 (館山市)



げんろう 原始・古代以来の水運・漁労の場とさ
いてきたいんぼぬま れてきた印旛沼 (佐倉市ほか)



みずか 水害から屋敷を守る水塚*
(本埜村)
〔写真提供：県立中央博物館〕

*用語解説) [生業] くらしていくための職業。なりわいとも言う。

[直轄牧] 江戸幕府が軍馬育成のために、現在の千葉県北西部に設置した放牧場の一つ。

[水塚] 利根川下流域で洪水から住宅や生活用品を守るために、平地より高く土を盛り上げた上に土蔵、住宅等を建てたもの。



水塚